



つくる。つむむ。つなぐ。

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra 169 Subscription Concert

西から東へ、クラシックから現代へ。
巨匠がつなぐ、時空のバトン。

巨匠が語る「ザ・クラシック」

[指揮]

トーマス・
ザンデルリンク

(特別客演指揮者)

Thomas Sanderling
Special Guest Conductor



[演奏]

東京佼成
ウインド
オーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

● セレナード第10番 変ロ長調「グラン・パルティータ」／W.A.モーツァルト

Serenade No.10 in B-flat major "Gran Partita" K.361(370a) / Wolfgang Amadeus Mozart

● 交響曲19番 変ホ長調／N.ミャスコフスキー

Symphony No.19 E-flat major Op.46 / Nikolai Miaskovsky

● 組曲「ガイーン」／A.I.ハチャトゥリアン／稲垣卓三

Suite "Gayaneh" / Aram Ilyich Khachaturian / Inagaki Takuzo



©Atsushi Yokota

6.25 WED 2025
開演:19:00 (開場:18:15)

東京オペラシティ コンサートホール
タケミツメモリアル

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 TEL:03-5353-0788

TICKET
(全席指定・税込)

S席:¥7,500 A席:¥6,000 B席:¥4,500 C席:¥3,500 U25:¥2,500

25歳以下の方のための割引サービスです。
公演当日は年齢を証明できるものをご持参ください。
取り扱い: TKWO チケットサービス

東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

WEBチケットサービス

いつでも予約可能!

※定期メンテナンス
毎日3:00-4:00

座席指定

クレジット決済

電子チケット

コンビニでの支払・発券



TEL

03-5341-1164

9:30-16:30
土・日・祝を除く

会員先行:2025/3/21(金)

一般発売:2025/3/28(金)

プレイガイド

- チケットぴあ
- ローソンチケット
- e+ (イープラス)
- 東京オペラシティチケットセンター
03-5353-9999 (月曜定休)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。
※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。
※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

主催: 一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

東京佼成ウインドオーケストラ事務局 TEL 03-5341-1155

<https://www.tkwo.jp/>



西から東へ、クラシックから現代へ。巨匠がつなぐ、時空のバトン。

中橋愛生 (TKWO楽芸員)

特別客演指揮者・ザンデルリンクが、コロナ禍を経て2020年2月以来となる定期演奏会への登場だ。父であるクルトが東ドイツと旧ソヴィエト連邦で活躍し読売日本交響楽団にも招かれたのと同様に、トーマスも両国で学び、TKWOに招かれ2011年に初共演して以来親交を重ね、2014年に首席客演指揮者、2020年に特別客演指揮者に就任している。受け継がれるクラシック音楽の伝統が、複数の意味で刻み込まれていると言えるだろう。

6回目の共演となる今回の定期は、ザンデルリンクのルーツであるドイツ＝オーストリアと旧ソヴィエト連邦の楽曲から成るプログラム。モーツァルト『グラン・パルティータ』は古典派期に作られた管楽合奏の最重要曲として歴史に燦然と輝く名曲。現代吹奏楽のルーツの一つでもあるハルモニウムジークの作品群において、編成的にも音楽的にも極地と言える存在だ。12本の管楽器とコントラバス(コントラファゴットで代用されることもある)のために作られているため「13管楽器のためのセレナーデ」という別名でも知られており、この編成は後世の様々な室内楽曲にも色濃い影響を与えている。また、全7楽章・演奏時間約50分という充実した内容を持っており、映画「アマデウス」においてサリエリが初めて聴いたモーツァルト作品として登場するの

がこの曲の第3楽章であることから、重要作であることがうかがえよう。

続くミャスコフスキー『交響曲第19番』は1939年に最初から吹奏楽のために作られた、旧ソヴィエト連邦生まれの交響曲。全4楽章・演奏時間約25分の作品で、独特な金管楽器の用法が特徴的な堅固な形式を持つこの曲は、吹奏楽史的に重要であるにも関わらず、実演に触れることができるのは非常に稀。レニングラード音楽院で学んだザンデルリンクの指揮で聴けるのは、またとない機会だ。

そして、『ガイーン』はアルメニア人で旧ソヴィエト連邦の作曲家ハチャトゥリアンの代表作だが、初演されたのはザンデルリンクが生まれた2ヶ月後。そして、ハチャトゥリアンはミャスコフスキーの弟子である。時の連続性が感じられよう。吹奏楽への編曲は、かつてTKWOのコントラバス奏者を務めていた稲垣卓三。当時のTKWOを想定して書かれたスコアから現在のTKWOがどのような響きを生むのかも注目だ。

ドイツ＝オーストリアから旧ソヴィエト連邦、そして東京へ。古典から近代、そして現代へ。二重・三重に連なる時空のバトンを、東京オペラシティで受け取ろう。

(敬称略)

Profile

トーマス・ザンデルリンク (特別客演指揮者) Thomas Sanderling, Special Guest Conductor



クルト・ザンデルリンクの長男として СанктПетербург で育つ。弱冠24歳でハレ州立歌劇場音楽監督に就任。ショスタコヴィチからスコアを贈られた交響曲第13&14番のベルリン初演を機に『ミケランジェロ組曲』を録音し、バーンスタインとカラヤンのアシスタントとなる。これまでに、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、バイエルン放送響、ドレスデン・シュターツカペレ、ベルリン・ドイツ響、ロンドン・フィル、ウィーン響等と共演。ベルリン国立歌劇場常

任客演指揮者、ノヴォシビルスク・フィル芸術監督および首席指揮者を歴任。ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ等にも登場する。日本では2014年より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者を務め、2020年1月より特別客演指揮者を務めている。

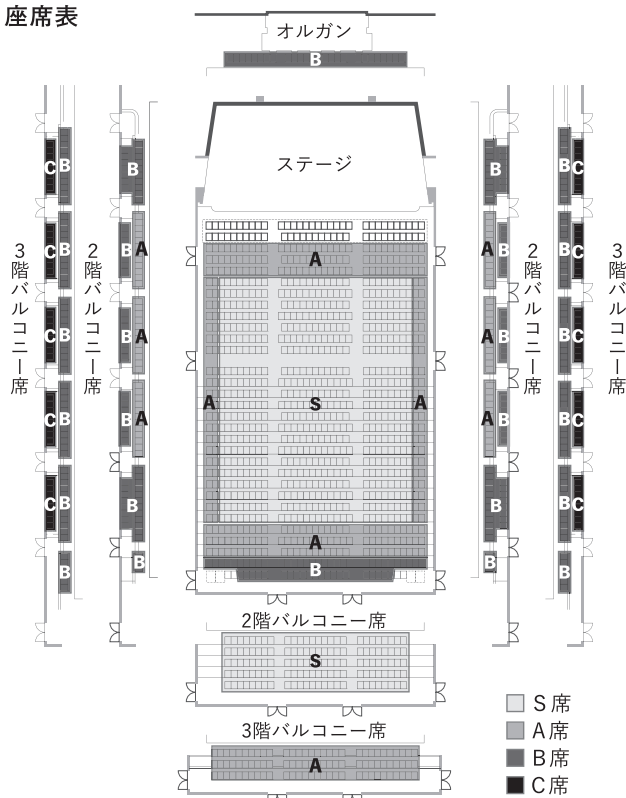
東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra



1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親を擁している。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し、高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

■ 座席表



東京オペラシティ コンサートホール: タケミツメモリアル

〒163-1403 東京都新宿区西新宿3-20-2 TEL:03-5353-0788

●京王新線 初台駅東口下車 徒歩5分以内

TKWO 吹奏楽カフェ

第6回

2025年
5月19日[月] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」

(最寄駅「新大久保」駅)

料金 2,500円(税込)

詳細は後日オフィシャルサイトにてお知らせいたします。

■ 共催: 管楽器専門店ダク